
ゆめみのこち

くれうし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゆめみのこころ

【Nコード】

N5591P

【作者名】

くれうし

【あらすじ】

夢の感覚に挑戦して見事撃沈。
銀さん一人語り。

夢をみた。

まあ、夢なんて誰だつてみるもんなんだから別に珍しくもなんともないんだけど。

どっちかってーと俺はよくみる方かなあ、いつの日かそんなこと呟いたら地獄耳の新ちゃんに「安眠できてない証拠ですよ昼間身体動かさないからです自由業者」と欲しくもない嫌み付きの返事を頂戴したので側にあつたじゃんぷを眼鏡めがけて投げておいた。

ばすズバターンと威勢の良い音がした。

何が言いたかつたつてーと、今日は夢見が悪かつたつてこと。

基本良いも悪いもそれなりにあるけど、特に変わっているのは夢である筈なのに頭の中で引き潮のように残る残像が随分はつきりしているパターン。

出てくる奴らの会話だとか表情だとかがやたら鮮明に映ってた。

まるで暗い中爛々と光るテレビを瞬きせず観ていたような感覚だ。

加えて、起きた今現在でも少しばやけたそれが引き潮映像を割り込みながら早送りでリピート再生中。

…なんなのコレ

ホント毎回思うけどなんつー居心地の悪い夢なのコレ。起きた気がしないんだけどコレ。おかげで

「あたま、いてえ…」

吐き気がしない分まだ良かったとはいうものの、頭部で生まれたシクシクしたようなものがドロリと胸の辺りに流れ、溜まる違和感が未だに慣れない。

夢は夢らしくふわふわしていれば良いものを、気味が悪いったら。思考をシャウトするべく、ぬくぬくの布団から意を決して飛び出す。

キンと冷えた空気が今だけは有り難かった。

「あー…さぶ、さぶさぶ…」

内容は正直、思い返したくない。

現実性の高い夢はいつも思わせ振りだ。

何の根拠もないくせに。

「おっせーよオ銀ちゃん」

のろのろ襖をあけると、とうるんと生卵をご飯に落とす神楽がいた。
ご機嫌なのか鼻歌までかましている。

あーまた卵かけご飯なのね。

それなのにいつもこの子は初めて食べましたな勢いでまあ美味しそ
うに食べてくれる訳ですよ。

連日の卵かけごはんをなんとか食べられるのはこいつを見ているか
らかもしんない。

用意された生卵とご飯を頂くべく俺は片足を浮かせた。

日常の膜に包まれた夢は、多分そのまま消えてしまっただろう。

終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5591p/>

ゆめみのこち

2010年12月18日14時37分発行